

平成24年7月31日（火）
国土交通省関東地方整備局

記者発表資料

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成24年度第2回）の開催結果について

関東地方整備局では、平成24年7月30日に、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価監視委員会を開催しましたので、審議結果をお知らせします。

審議の結果、対応方針（原案）のとおり、了承されました。

なお、議事概要は、別紙のとおりです。

※配付資料については、関東地方整備局ホームページでご覧下さい。

関東地方整備局ホームページ(<http://www.ktr.mlit.go.jp/>) →募集・情報公開→公共事業の評価

URLダイレクト入力の場合 <http://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/index00000018.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会
茨城県政記者クラブ、刀水クラブ、千葉県政記者会
東京都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、長野県庁会見場
長野市政記者クラブ、長野市政記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 TEL. 048-601-3151（代表）
048-600-1329（夜間直通）
地方事業評価管理官 すぎさき 杉崎 みつよし 光義（内線2118）
企画部技術企画官 しのはら 篠原 くにひこ 邦彦（内線3126）

(別紙)

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成24年度第2回）

議事概要

1. 日 時 平成24年7月30日（月）13:30～16:00
2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館 5階 「共用大研修室5A」
3. 出席者

[委員長]

家田 仁（東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授）

[委員]

楓 千里（株）JTBパブリッシング 執行役員ソリューション事業本部副本部長）

加藤 一誠（日本大学経済学部教授）

佐々木 淳（横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授）

清水 義彦（群馬大学大学院工学研究科社会環境デザイン工学専攻教授）

鈴木 誠（東京農業大学地域環境科学部造園科学科教授）

恵 小百合（江戸川大学社会学部現代社会学科教授）

笠 京子（明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授）

（敬称略、五十音順）

[関東地方整備局]

局長 下保、副局長 菱田、総務部長 青木、企画部長 金尾
道路部長 池田、営繕部長 林、用地部長 河井 他

4. 議事概要

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局長

(2) 審議

1) 再評価対象事業の概要説明

- ・ 関東地方整備局の道路事業7件、営繕事業2件の概要説明

2) 審議

- ・ 事務局より説明された再評価対応方針（原案）は、全て、対応方針（原案）のとおり、事業継続とする。

<評価対象事業>

事業名	重点案件	事業箇所名	事業主体	対応方針(原案)	審議結果
道路		一般国道6号 土浦バイパス	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		一般国道14号 亀戸小松川立体	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		一般国道16号 入間狭山拡幅	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		一般国道17号 高松立体	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		一般国道18号 長野東バイパス	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		一般国道18号 野尻IC関連	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		一般国道51号 北千葉拡幅	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
営繕		東雲合同庁舎	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		立川地方合同庁舎	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承

<委員からの主な意見>

(道路事業)

- ・ 亀戸小松川立体は、便益が上がった理由について、資料に追記すること。

(営繕事業)

- ・ 当該PFI事業の概要等について、資料に追記すること。